

平成24年度 地域産業復旧・復興支援事業（Bタイプ）

株式会社北上オフィスプラザ 株式会社北上オフィスプラザ（岩手県）



「被災地域の企業が共同で行う販路開拓のための展示会開催」

【事業目的】

岩手県内の被災水産加工業は、最小限の設備で事業再開にこぎつけたところも多いが、半年以上のブランクは大きく、以前の顧客の2/3は海外や他地域へ仕入先を変更して戻らず、新たな販路開拓が大きな課題となっている。

しかも、再開した企業は生産することが精一杯で、資金や営業の体制が伴わないことから、販路開拓の課題が解消できないままとなっている。

このような状況から、平成24年1月、被災企業の販路開拓を支援するボランティア組織として北上市本通り商店街復興支援アンテナショップ「三陸きずな商店：代表熊谷守」を立ち上げ、釜石・大槌地域の企業18社の製品の受託販売を開始し、販売支援を行っている。

本事業は、当社が交流している神奈川県藤沢市の藤沢市産業振興財団から復興支援として「三陸海産物展示即売会」の開催を求めてきたことから、被災企業の三陸海産物の販売支援を行っている「三陸きずな商店」と連携し、復興支援ニーズの高い藤沢市において三陸海産物展示即売会を開催し、新たな販路開拓を図ろうとするものである。

【事業実施状況・成果】

「三陸海産物展示即売会」

- ・平成24年8月30日（木）13：00～17：00
- ・平成24年8月31日（金）10：00～16：00

来場者：約1,000名
売上げ：258,300円

出展事業者の三陸きずな商店は、本年1月に事業開始以来、十数回のイベントに出展しているが、1イベントの売上げが10万円を超えることはなかったものを、本事業では、本事業では見事、最高額の売上げを達成し、大成功と大きく評価している。

【今後予想される事業効果】

売上げの成果は、三陸沿岸の出展者である被災企業20社へそのまま売上げが還元されるものであり、出展者である被災企業と事業者の三陸きずな商店の信頼関係も高まることが想定される。また、来場者のほとんどが被災地支援の意欲があり、出展者に被災地の様子を聞く光景も多く見られた。

このことから、この事業は単発の販売のみならず、インターネット販売のリピーターに繋がることも予想される効果的な事業となった。